

生演奏届けて300回

鶴見病院「さわやかコンサート」

別府市の県厚生連鶴見病院で開かれている「さわやかコンサート」が25日、300回を迎えた。「心と身体に音楽の香りを」「音楽のある病院に」と、音楽指導者らでつくるグループ「アルファ」(同市)が四半世紀にわたって毎月、入院患者や地域住民に生演奏を届けてきた。

節目のこの日は会場の病院ホールでセレモニーがあり、藤富豊院長が「感謝の



演奏を披露するアルファのメンバー

気持ちでいっぱい。これからも続けてほしい」とお礼を述べた。アルファの竹内幸一代表(67)ら6人が観客のリクエストを基に選曲した映画音楽や歌謡曲など約20曲をクラシックギター、バイオリン、フルートなどで披露した。

コンサートは1991年に始まった。当時は院内で開くコンサートは少なく、出演依頼を受けた竹内さんが音楽仲間とアルファを結成し、ボランティアで開くことになった。病院スタッフも会場準備や司会などで支えてきた。

コンサートを楽しみにしている患者や住民も多く、退院後も訪れる人がいるという。竹内さんは「喜んでくれる皆さんの姿にやりがいを感じる。病院と協力して活動を続けたい」と話している。コンサートは毎月第4金曜日午後6時40分から開いている。

